

## 世界遺産「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群公開講座

### 第4回「沖ノ島祭祀以前」

沖ノ島は、なぜ「神宿る島」となったのでしょうか？

この問題を理解するためには、まずは大規模な祭祀が開始される古墳時代以前の沖ノ島と宗像地域を理解することが欠かせません。

沖ノ島から出土したとされる弥生時代の銅矛の意義や、田熊石畑遺跡の青銅器副葬墓など本土側の遺跡とのかかわりなど、玄界灘をとりまく状況を広く踏まえつつ、当時の宗像を考えます。

日 時：令和元年 9 月 21 日（土） 13:30-16:30

場 所：海の道むなかた館 講義室

スケジュール：

13:30 開会あいさつ

13:40 講演 1「沖ノ島祭祀の成立前史」武末 純一

15:00 休憩(15分)

15:15 講演 2「沖ノ島出土銅矛と青銅器祭祀」柳田 康雄

16:30 閉会

## 沖ノ島出土銅矛と青銅器祭祀

國學院大學客員教授 柳田 康雄

玄界灘沿岸に出現した弥生時代初期文化は、ムナカタにも及んでいる。この地域は、弥生時代青銅器最古の今川遺跡など、初期青銅器のうち稀有な舶載青銅武器が限定して流入しているが、初期青銅武器の製作・研磨技術がないことから、武器の折損や刃こぼれなどの使用痕跡が残り、戦闘・祭祀の模擬戦が推測できる。沖ノ島出土銅矛は、その形態から北部九州製であり、武器形青銅器が集中するムナカタ地域の青銅器文化を熟知する必然性がある。「イト国」・「ナ国」に元始王権が出現した以後は青銅器製作が緩和されることから、ムナカタ地域でも青銅器を製作し、以東地域に搬出される。この北部九州系青銅器の東漸にムナカタ一族が深く関与する。

宗像市沖ノ島では弥生時代の遺物が若干発見されている。その中で重要なのが戦時中に発見された銅矛であるが、銅矛は現在も山形県在住の個人所有で、今回の交渉でも未公開状態が継続しているので、実測・写真撮影ができなかった。

沖ノ島から最短距離にある九州本土は宗像市であり、行政的にも宗像市に属する。沖ノ島出土銅矛を理解するには、この宗像地域の弥生青銅器の実態を熟知しなければならない。これまでに宗像地域の青銅器が集成されたことはあるが、残念なことに型式分類など弥生時代青銅器研究の現状を把握されていないことから、拙稿以前の青銅器研究のなかでは地域性を語るができない（柳田 1986～2018）。

したがって、先に糟屋以東の玄界灘から響灘沿岸の主な青銅器出土遺跡の概要を紹介し、新しい弥生青銅器研究のもとでムナカタ地域の青銅武器と青銅器祭祀の特質を探りたい。

世界遺産「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群公開講座

2019年9月21日（土）



國學院大學客員教授 柳田 康雄

北部九州以外は考古学で弥生時代の年代はきめられない

中国	年代	韓国	青銅器	時代	時期	玄界灘沿岸	北部九州	遠賀川以東	瀬戸内中部	近畿	
春 770- 秋 453-	400- 300-	無文土器時代	遼寧式	弥生時代	晩期	黒川式	黒川式		津島 沢田	滋賀里IV式 船橋式 長原式	
可來里式 欣岩里式			I-1 I-2		夜臼式	1 2	夜臼式	1 2			
休岩里式			II-1 II-2		板付I	1 2	板付I式	1 2			
?			III		板付II式	1 2	板付II式	1 2 3			
松菊里式			IV-1				板付II	1 2 3			
水石里式			IV-2		I	1 2	城ノ越式	下城式			
			IV-3		II	1 2	須玖I式	1 2			
鞆島式			V-1 V-2		III	1 2	須玖II式	1 2			
221- 秦	200- 100-	三国時代	VI-1 VI-2	古墳時代	後期	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5	I II III IV V	第I様式 第II様式 第III様式 第IV様式 第V様式 第VI様式		
202-											
8- 新											
25- 後											
漢											
184 黄巾の乱	200- 300-	三国時代			早期	西新式 I a I b	西新式 I a I b	西新式 I a I b	才町	庄内式	
220- 三国					II a	II a	II a				
265- 西晋					II b	II b	II b	下田所	布留式		
316- 五胡					II c	II c	II c				
400- 東晋			III a	III a	III a						

註 北部九州とは玄界灘沿岸以外の福岡・佐賀内県と老成・対馬を指す  
青銅器圖は朝鮮半島墳墓副葬品諸段階

表1 玄界灘沿岸の文物からみた土器編年・年代と地域間の併行関係 (柳田2018『纏向学研究』6)

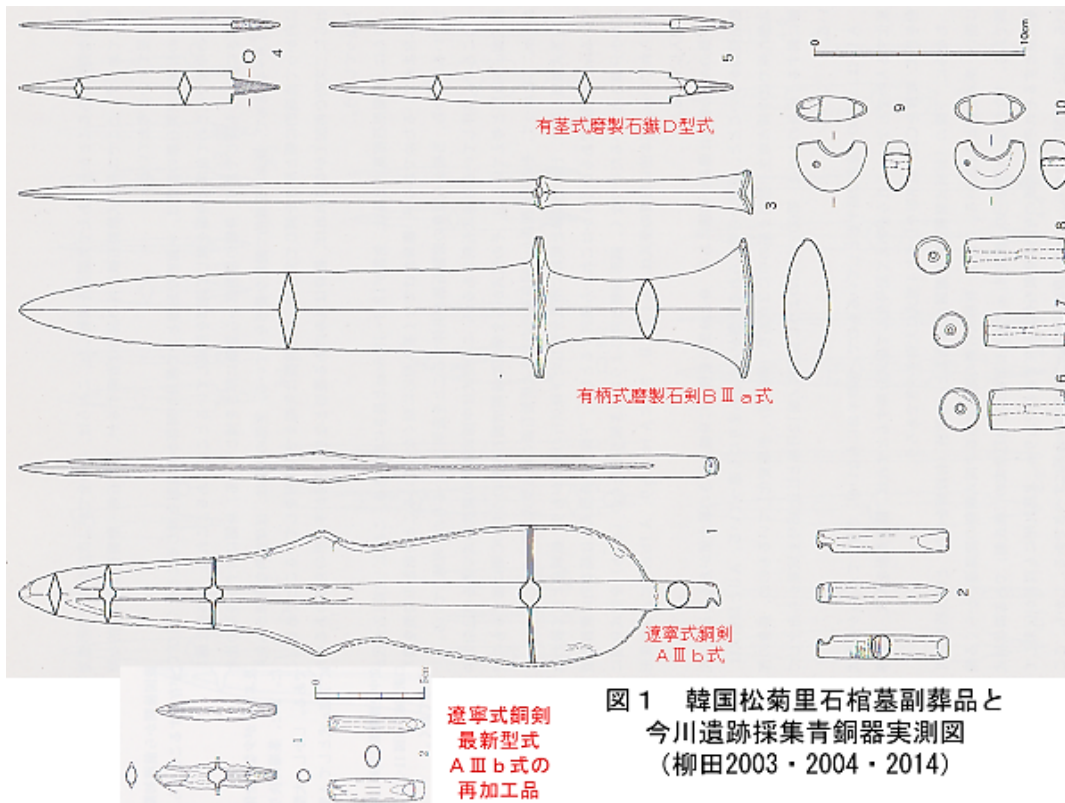


図1 韓国松菊里石棺墓副葬品と今川遺跡採集青銅器実測図 (柳田2003・2004・2014)





図2 今川遺跡の青銅器と玉類（福津市教育委員会蔵）



図3 今川遺跡磨製石鏃の型式と模倣品

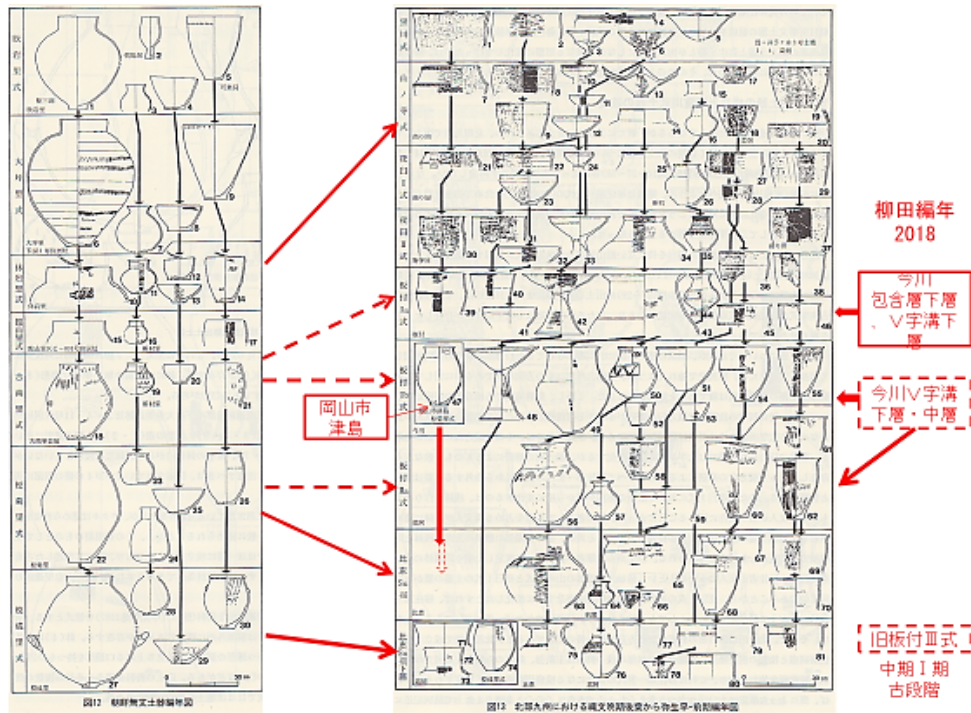
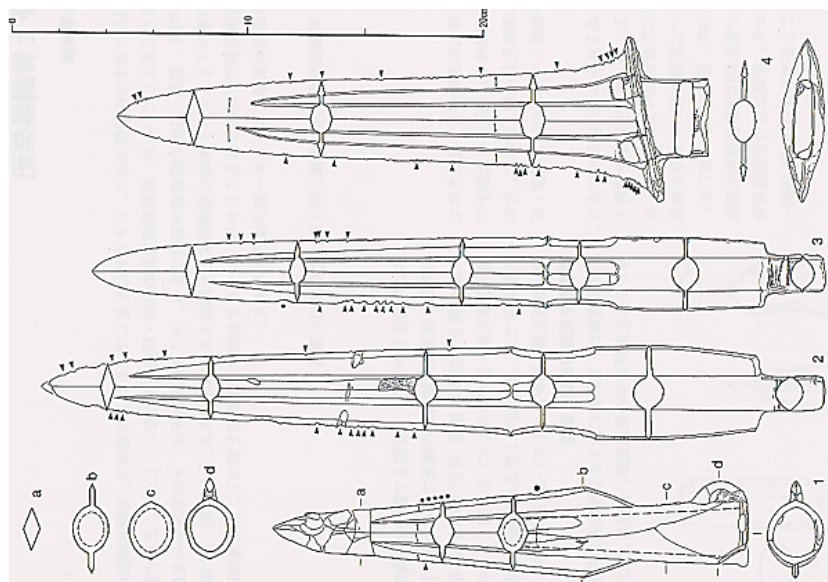
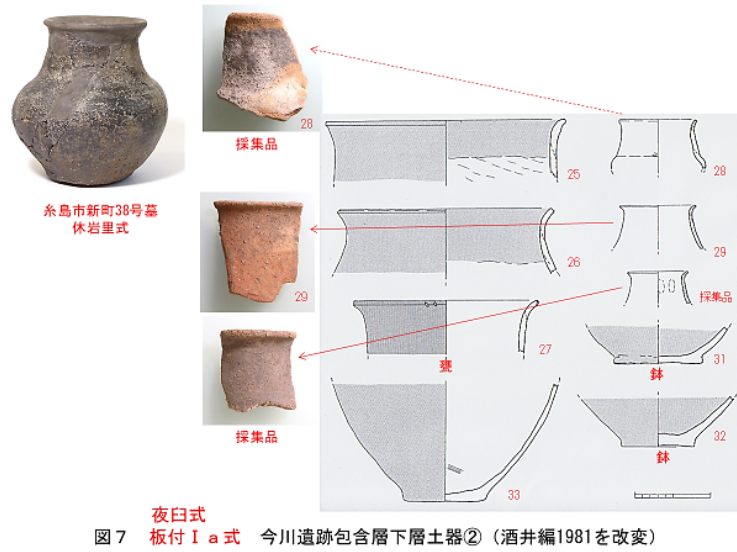


図4 家根祥多（1997）の朝鮮無文土器と弥生土器編年





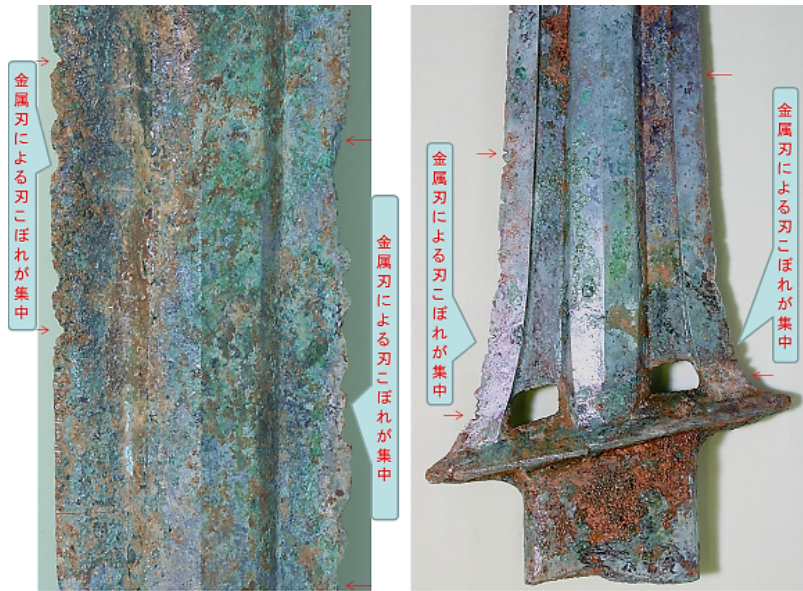


図18 古賀市馬渡東ヶ浦銅剣2の刃こぼれ

馬渡東ヶ浦銅戈の刃こぼれ

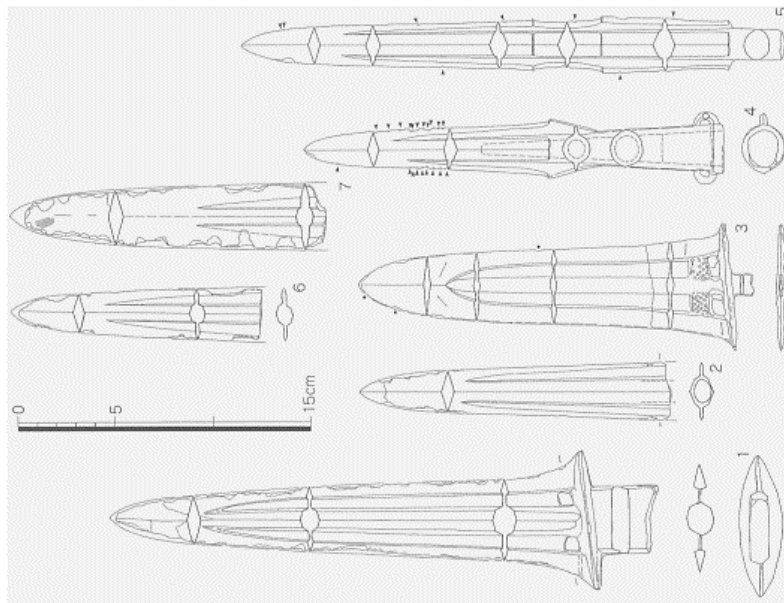


図20 カスヤ・ムナカタ・銅矛・銅剣・銅戈実測図 (柳田2014)

- 1 鹿部 2・3 朝町竹重28号墓 4・5 久原IV区1号土坑墓 6 田熊仲尾 7 鐘崎上八



図21 宗像市竹重ⅢA c式銅戈の刃こぼれ、右側は新しい



図22 宗像市久原1号木棺墓銅矛の刃こぼれ



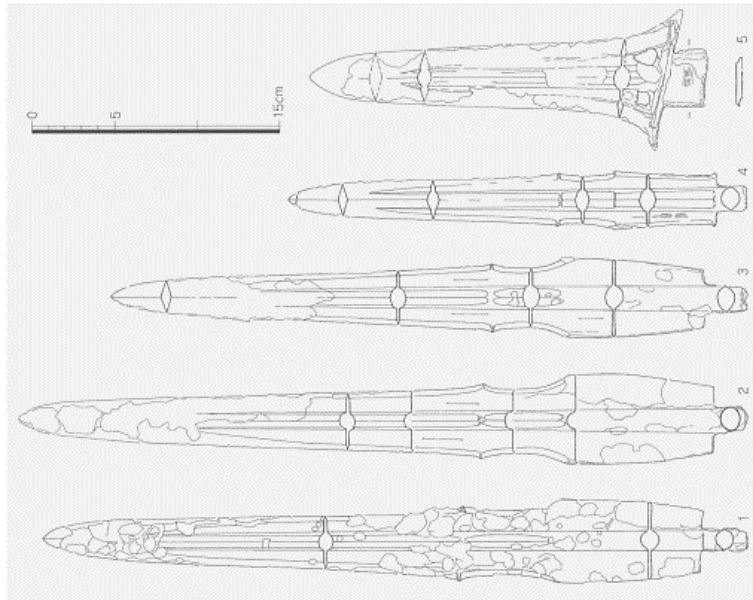


图23 宗像市田熊石畑1号墓青铜武器实测图（柳田2014）

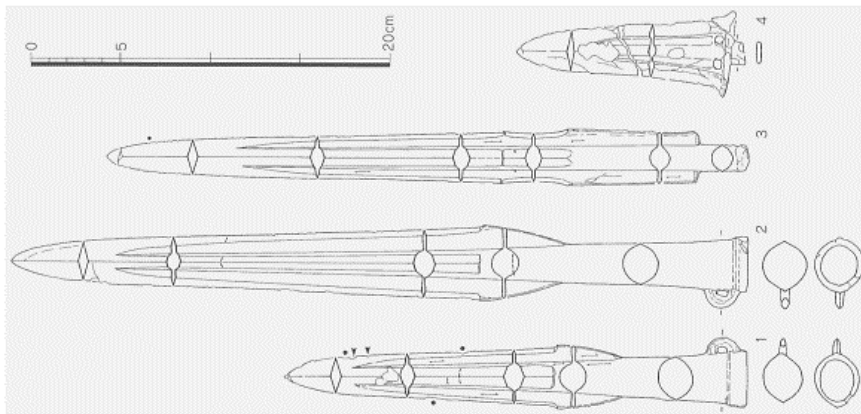


图24 宗像市田熊石畑2号墓青铜武器实测图（柳田2014）

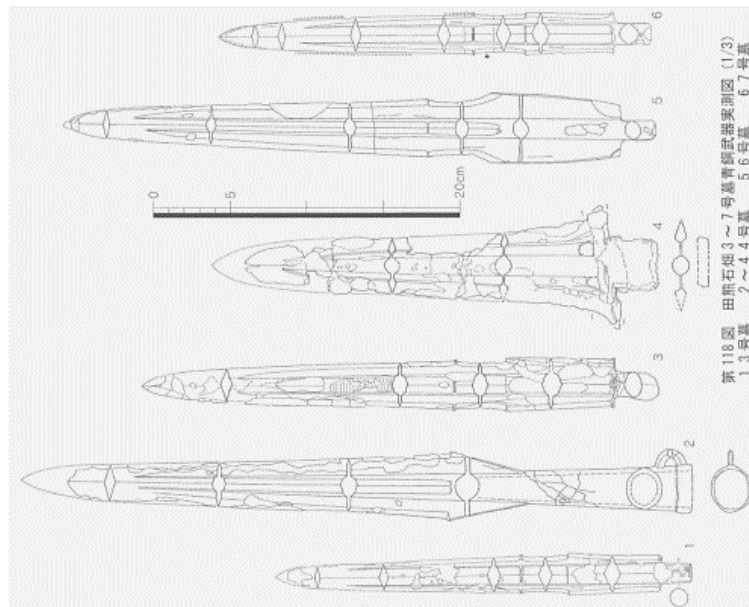


图27 宗像市田熊石畑3~7号墓青铜武器实测图（柳田2014）



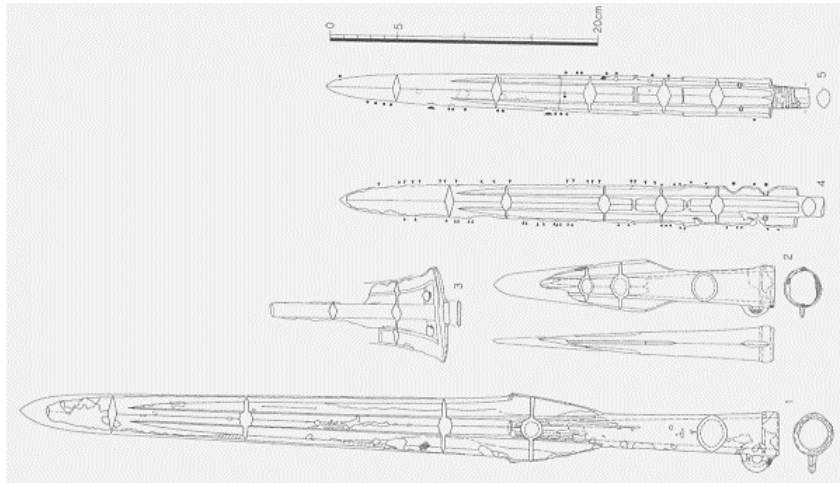


図35 オカ・キクの銅矛・銅剣・銅戈実測図（柳田2014）  
 1 岡垣町 2・3 元松原 4 金丸2号土坑墓 5 小倉城家老屋敷

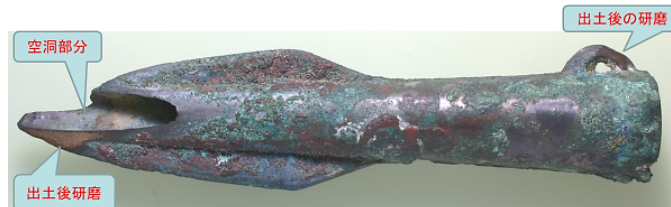
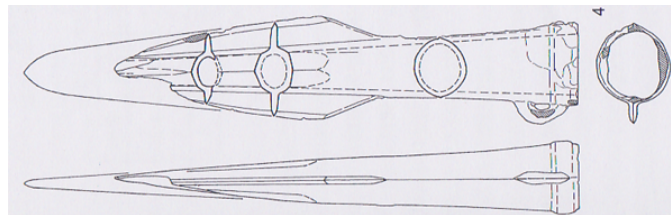


図36 岡垣町元松原の身が大きく折損した銅矛（復元20cm）

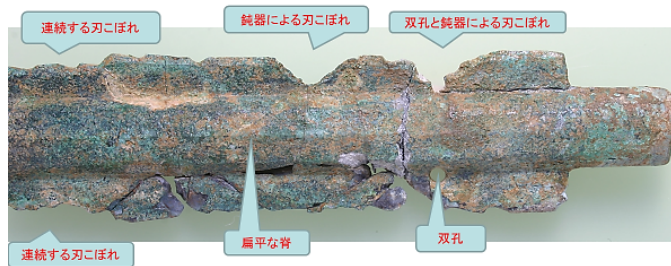


図39 遠賀町金丸銅剣の双孔と著しい刃こぼれ



図40 遠賀町金丸有樋石戈



図41 小倉城御家老屋敷銅剣の双孔と茎の巻紐

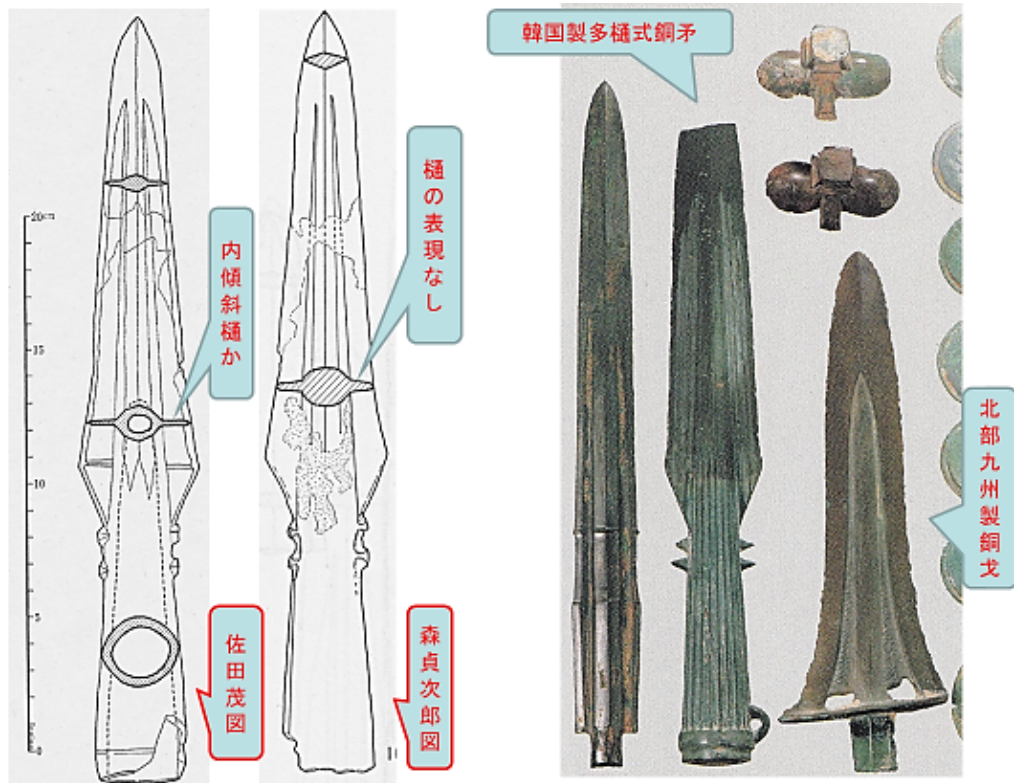


図42 伝沖ノ島銅矛実測図 (1/2)

図43 韓国慶州竹東里遺跡出土一括 北部九州の中期中頃に併行

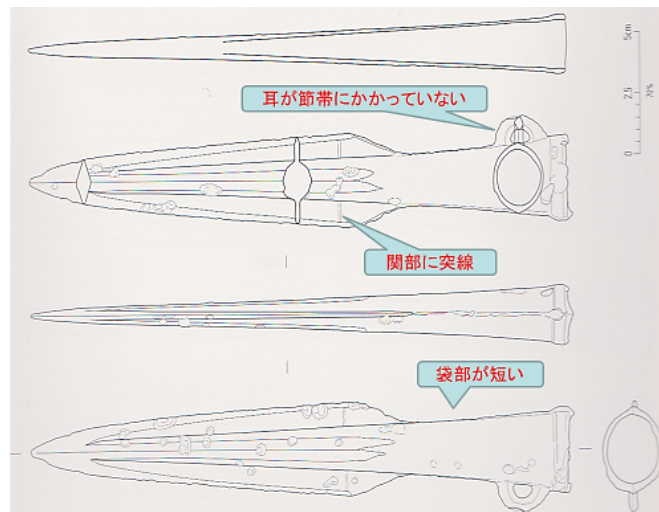


図44 関部に突線のある銅矛① 韓国基督教博物館2011『鎔范と青銅器』から



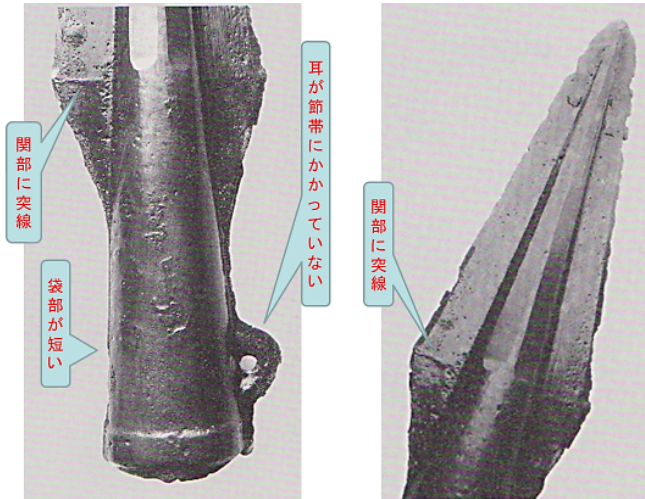


図45 関部に突線のある銅矛② 葛洞8号木棺墓  
 湖南文化財研究院2009「完州葛洞遺跡(Ⅱ)」『湖南文化財研究院学術調査報告』116

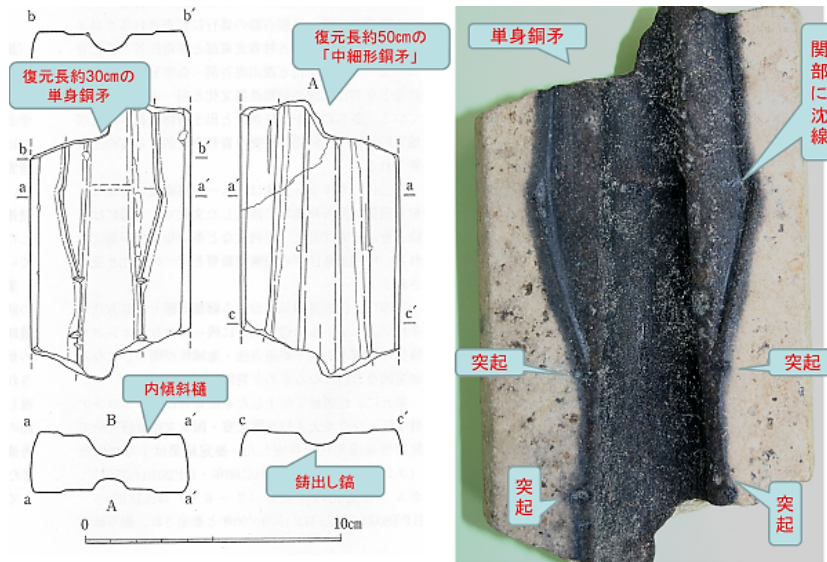


図46 鳥栖市本行1号銅矛鑄型実測図(1/2)

鳥栖市本行1号銅矛鑄型の関部と脊の段および突起

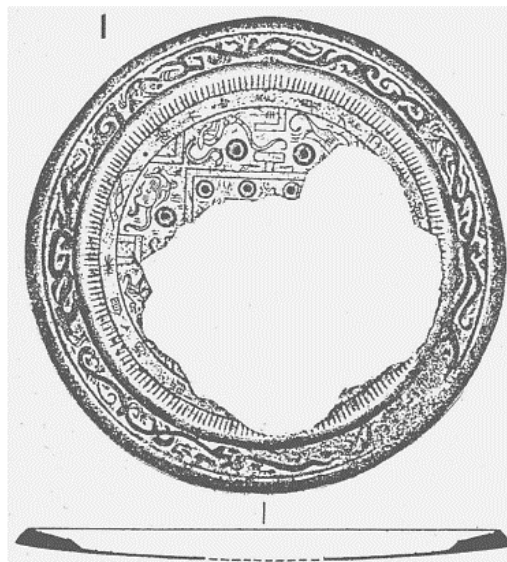


図47 沖ノ島18号遺跡獣文縁方格規矩四神鏡



沖ノ島18号遺跡

獸文縁方格規矩四神鏡



図48 沖ノ島18号遺跡獸文縁方格規矩四神鏡 複製鏡(踏返し鏡)



図49 沖ノ島18号遺跡獸文縁方格規矩四神鏡

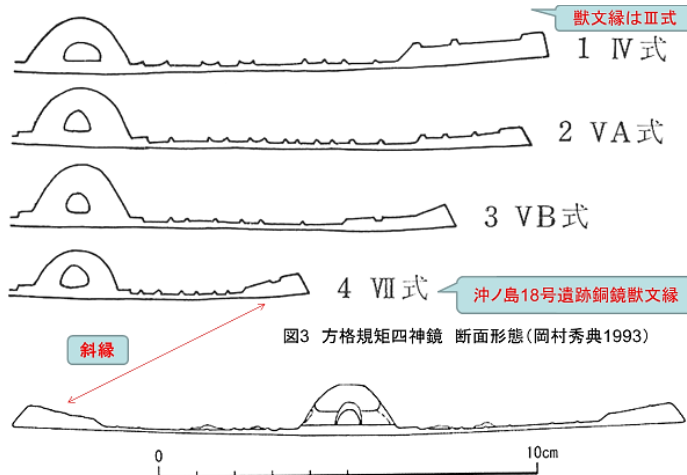


図3 方格規矩四神鏡 断面形態(岡村秀典1993)

図50 沖ノ島18号遺跡獸文縁方格規矩四神鏡断面図